


祝 15周年

熟年

J-net

15

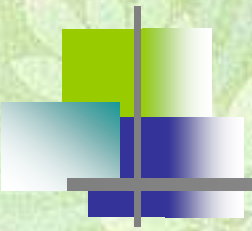


15年を振り返って


熟年研究会発足のきっかけ



「充実した熟年を楽しむために」講演会
平成6年11月実施



平成7年1月創設



「定年後の自分に何が出来るか？」
「何か出来るはず」と

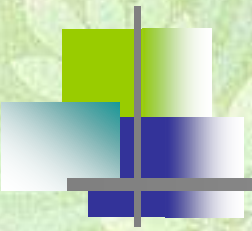
百年塾の中で第二の人生を考える

『**熟年研究会**』を15人で作った

ボランティア、趣味、地域活動など

何か出来るはずとの
何が出来るかの

思いはひとつ
目標はそれぞれ



理念・活動の基本

創設の理念

シニアライフを豊かに生きる
(お役に立って楽しく)

活動の基本

仲間づくり
生きがいづくり
大好きひたちづくり



熟年研究会



平成8年度の役員や活動計画が定められ活発に活動が行われ始めた。どのような活動をしていたか

学習会

座学による地域学習

年金、ボランティア、日立の歴史など

日立再発見

自分の足で再発見 御岩神社と日鉱記念館

交流会

会員同志のコミュニケーション作り

平成7年2月に結成されたハーモニーフレンズの演奏が行われた

会 報 第1号の発行 平成8年5月

平成12年まで2回／年（平成11年は発行されていない）

平成10年度に活動をさらに発展させるためとして

ニックネームを「*J-net*」とし

キャッチフレーズを

「セカンドライフを豊かに生きる

生き生き *J-net*」

として活動を進めると決めました。

ここに *J-net* という文字が出てきます。

Ｊは 熟年の Ｊ と

Joyful lifeの Ｊ と

2つの意味を持たせています。

会報第5号より



楽習会



創設当時は**学習会**としていたが、平成13年度より
楽しく学んでいこうと、**楽習会**とした

動 機

豊かなシニアライフを楽しく生きるために大好き
日立に密着した地域社会・文化・歴史など何にで
も興味をもって楽しく学ぼうと発足

目 的

楽しみながら多種多様な様々な行事に参加し
仲間つくりと自分を再発見すること。

活動内容と活動事例

楽しい学習

- 学ぶ・健康・癒し体験・各種交流会など
男の料理、研修旅行・交流会など

大好き日立を学ぶ

- 日立の町再発見 歴史・現状を学ぶ
日立市の行政、清掃センター見学 さくらを楽しむ
ハイキング など

お役に立つ楽習

- 元気に楽しく高齢社会生きるために
最近の悪徳商法、介護・救急救命 高齢者問題
健康と食生活 など

井戸端会議

- 意見交換、仲間づくり、情報交換、連携強化
テーマを決めずに楽しい意見交換

楽しい学習



男の料理



日帰り研修旅行



夏季交流会

大好き日立を学ぶ



日立市の行政を知ろう



清掃センター見学

お役に立つ学習



Jwayの見学



救命救急を学ぶ

井戸端会議



グループに分かれてフリートーク

ハーモニーフレンズの発足

平成7年2月 自主グループ1号



平成8年 東金沢福祉センター 初めてのボランティア演奏



常陸太田市総合福祉会館



「のびのびハーモニカ」の
子供たちと一緒に



成沢公民館「ニコニコ茶話会」



百年塾人材部会

- 年々演奏回数も増加し21年は50回程度の演奏を行っている。
- 平成17年には10周年を迎え記念演奏会を実施
- 平成20年1月 **社会福祉功労賞を県知事より授与**



10周年記念コンサート



県知事表彰

マスコミでの紹介

平成8年1月 熟年研究会の活動が茨城新聞に掲載

リタイア後の



第二の人生の生き方を見つけようとする熟年研究会、会場の中央に飾られた「日立リビングセンター」

「何かできるはず」と模索

思いはひとつ、目標はそれぞれに

長い会社勤めを終えて、現
地に別荘を建てた。退職上
が自由をつかんだ前、寂し
さを手帳に書き込んでいた
「寂しい」「静かすぎる」
と、寂しい、静かすぎる、
と書き込んでいた。

立ち場さまざまな15人

第二の人生を考える熟年研究会

二十一年、二十二年と続く。これの先をどうしようかと
思っている。退職してからは、年々の人生をいかに生きる。する人たちが、一月五日
が自由をつかんだ前、寂しさを手帳に書き込んでいた。寂しい、静かすぎる、と書き込んでいた。
「寂しい」「静かすぎる」
と書き込んでいた。

定年に対する心構え
年金 ボランティア
日立再発見などを
話し合う

平成8年1月6日
茨城新聞に紹介される

平成8年5月9日
NHK教育TV「男と女の生活学」で当会が活動の事例
として取り上げられ全国に放映された

平成16年4月15日
読売茨城タウンニュースに「生きがい持って地域貢献」と題し
紹介される



役員紹介

熱年研究会 会報

第10号

創刊号によせて

代表世話人 飯札 俊

この度、熱年研究会会報が創刊されることになりました。平成6年度の後半より1月の準備期間を経て、1月号の創刊号の発行まで準備が完了しました。この会報は、各関係団体の皆様との交流と熱年研究会会員の皆様によるものであり、熱年研究会創設の旨に沿っての一人として努力をお願いします。

さて、ご存じの様に日本の高齢化は急激に進んでおり、近い将来には極めて重要な問題になることは容易に想像できます。このような事態に對して多くの方々は種々の準備をなされていることと想います。

しかし、一方で長い間活動した社会を退職して、「どうして生きたらよいか」悩んでいる方も少なくありません。

熱年研究会では、このような方々と「定年後を楽しく過ごすために」を研究し、推進していきたいと考えています。

発足したばかりでまだ能力不足ですが、関係の方々のご支援と会員の努力により、今後1年熱年研究会に行きましたいと思っております。宜しくお願い致します。

平成8年度の活動計画紹介

平成8年度の活動計画は、下記の如くです。会員の皆さん、ご協力をお願い致します。

実施月	講座 題目	担当
6月	① 定年後を楽しく過ごすために (1)	飯札 俊
7月	② 定年後を楽しく過ごすために (2) 交流会	田安 進
7月	③ 日立再発見	飯札 俊
8月	④ 日立市の高齢者福祉について	小池 彰
9月	⑤ 日立市の歴史を知るために	嶋野 龍雄
10月	⑥ 年金について	田安 進
11月	⑦ ボランティアについて	飯島 龍雄
12月	⑧ 「ゴ」について	田安 進

▼平成9年度の講座は、後日計画予定です。ご了承下さい。

平成8年度の役員紹介

平成8年度の役員として、下記の方々が担当することになりました。会員の皆さんの絶大なご協力をお願い致します。

- ◎ 代表世話人 飯札 俊
- ◎ 世話人 田安 進
 嶋田 和子
- ◎ 会報 小池 彰
- ◎ 会 計 飯島 龍雄

★講座のポイント★

▼「定年後を楽しく過ごすために」の目的・趣旨

① ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

会報の変遷

発行回数	平成08年～平成12年	2回／年
	平成13年	3回／年
	平成14年～現在まで	4回／年

題字 **熟年** 1302号より使用

カラー化 当初、新年号のみカラーであったが
1701号よりは毎号カラーとした

現在の紙面構成は

- 1面 期間内のトップ記事
- 2面 楽集会実施報告
- 3面 自主グループの活動の様子
- 4面 会員への情報発信

作成は広報委員会が担当

パソコン研究会

会員相互のコミュニケーションとシニアネットの構築を目指し自前のパソコン研究会を立ち上げる。

- ・視聴覚センターに自主グループとして登録
- ・初期は講師を招いたが、後には会員が講師となり推進
- ・2年目は希望者多く初級と中級で実施
- ・現在のメール取得者 86%（会員・会友）
- ・受講者減少と役割が終了したことから20年度で終了



パソコンの習得に真剣に取り組む会員の面々



シニア講座



「**シニアライフを豊かに生きる**」を目的として定年退職者が地域勉強できる場として講座を開講

平成12年7月

「第1回目のシニアライフ講座」を開講

シニア講座 シニアのための地域入門講座等と呼ばれている

平成19年より **日立市社会福祉協議会**と共催となる

延べ受講生 過去10回で約130名

主な講座内容

郷土の歴史・日立再発見
市役所の役割
シニアライフを豊かに生きる
交流センター・ボランティアを学ぶ
生活習慣病・悪質商法 など



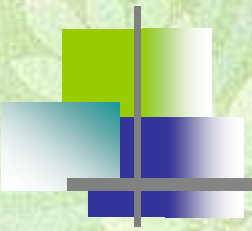
社協との共催



第一回シニア講座



日立再発見



日立のさくらを楽しむ講座

平成13年「**さくらサミットinひたち**」の開催を契機に日立のさくらを勉強することを目的とし開催

3日間の実施

- 1日目 日鉱記念館で日立さくらのルーツ（3月）
- 2日目 日立製作所の歴史と日立のさくら（3月）
- 3日目 日立のさくら名所めぐり（4月）

毎年実施し今年8回目を実施した



第1日目 日鉱記念館

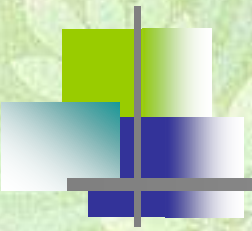


第2日目 小平記念館



第3日目 市内桜名所めぐり NHK「小さな旅」で紹介される





百年塾より自立

平成13年度

ひたち生き生き百年塾を巣立ち

会名を **熟年ネット・ひたち**

と改めスタート

仲間づくり、生きがいづくり、大好きひたち作り

お役に立って生きる

会の理念や活動の基本は踏襲



Jネットオカリナ発足



平成13年10月「**この指とまれ**」活動の一つ
として「**オカリナ同好会**」を発足

後にJネットオカリナと改名し、現在の

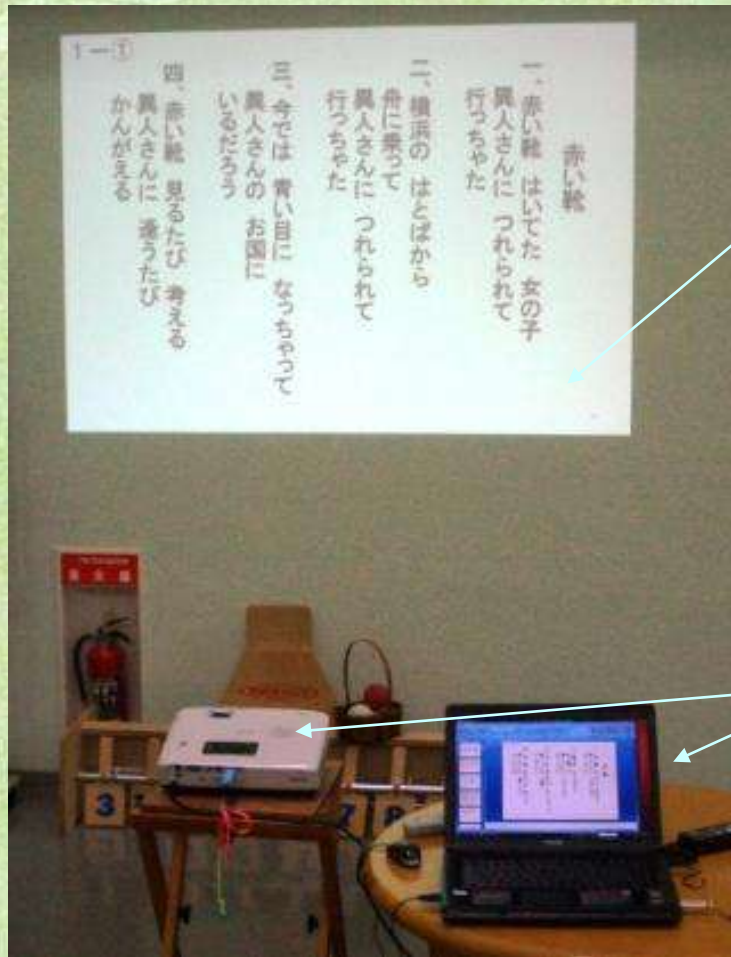
Jネット・オカリナハートとして活動

平成13年12月の会の**年末交流会**で**初演奏**をした。

平成14年6月笠間市しで行われた「**カンターレ・
オカリーナの集い**」で**初ステージ**を踏む。

その後、ミュージック・トレインでの演奏や、
ボランティア活動として「しおさい」や交流センター
社会福祉協議会の行事に参加し演奏を行っている。

平成21年度には金融機関の助成金を活用し
プロジェクター等の設備の充実を図った。



歌詞の投影

パソコンとプロジェクター



カンターレ・オカリーナで演奏



「しおさい」での演奏



総会

平成14年度に第1回目の総会を実施

平成16年度総会

会費の値上げ、役員制導入 承認され
会則の制定がされた。



事務所

当初 代表宅を事務所とした

平成14年7月

銀座通りに念願の**仮事務所**を開設
パソコンの導入

事務所



平成15年9月

大みかインフォメーションセンター
「ぷらり」内に変わる。仮事務所

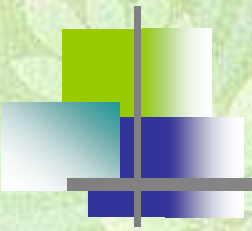


平成16年6月

現在の事務所に移転

本事務所として活発な活用を開始

現事務所



女性センター祭りへの参画

J-netの活動拠点を女性センターにおき
センター祭りには積極的に参画し、祭りでの

J-netの活動報告
祭り運営での各種お手伝い
を行っている

運営のお手伝いとして21年度は

実行委員

広報グループとしてチラシやポスターの作成

記録写真

ステージの進行係

模擬店のお手伝い

女性センター祭りでの活動報告



初参加女性センター祭り
活動の様子をパネル展示

21年度
活動報告パネル展示
おもちゃの病院開設
オカリナ演奏



ホームページ開設

平成14年11月開設し会の活動の情報を発信



開設時のトップ画面

内容

J-netの基本理念

シニア講座

楽習会

パソコン研究会

会報

実践活動（自主グループ）

会員の投稿欄 等で構成

現在も行事終了後は速やかにアップロードし
情報発信を行っている。



定年退職者と主婦の市民活動グループ

熟年ネット・ひたち



HOME

J-net紹介

豊かに生きたいと願うシニア
のための……

シニア講座

会員のための啓発活動……

楽習会

豊かに生き、お役に立つ会外
活動……

自主活動

新着情報

入会案内

会員のページ

予定表

「シニアライフを豊かに生きる」を目標に
仲間づくり、生きがいつくり、大好きひたちづくり
を目指し活動しているグループ

最近の主な活動様子

4月9日 21年度総会を実施



新年度の活動スタートに当たり、総会が開催された。平成20年度の活動報告と平成21年度の活動方針・計画の審議を行い、15周年記念行事計画も含めて全会一致で承認された。〈詳細は[ここ](#)〉

自主活動の様子

4月6日 ウォーク会 御岩山で“イワウチワ”観察



ウォークに参加した皆さんと、イワウチワ。〈詳細は[ここ](#)〉

ウォーク会
は4/6に
お岩山の岩
場に咲くイ
ワウチワを
見ながらウ
オーキング
を行った。

ひたちおもちゃの病院

こわれたおもちゃなおします



各地区の診療所紹介

[土王診療所](#)

[北診療所](#)

[中央診療所](#)

[塩山診療所](#)

[南診療所](#)

お知らせ

★シニア地域入門講座★
21年度の受講生を募集して
います。詳細は[ここ](#)

会報「熟年」

★2009-01号を発行★

訪問者

027957

(開設 2002/11/5 改定 2009/4/12)

最終更新日 2009/4/14

現在のホームページ トップ画面

ひたちおもちゃの病院発足



平成15年7月 発足

子供たちに科学する心や、創造する力を養い
物の大切さを教えることが真のねらい。

マスコットキャラクター Jベア



発足式

設立時のドクター 17名
病院設置場所 事務所

現在までの
カルテ件数 1081件
修理できたもの 9割強

現在のドクター 23名

平成16年度に新・地域診療体制スタート

北診療所 田尻交流センター

中央診療所 シビックセンター内
(現在は福祉プラザ内)

南診療所 大みか交流センター

病院本部 事務所内

平成16年6月新たな診療拠点として

十王診療所 十王交流センター

塙山診療所 塙山交流センター を開設

各診療所は1回／月の定期診療を実施

また、女性センター祭りや、百年塾フェスタ
環境フェアに積極的に参加し出前診療活動を実施

マスコミでもいろいろ取り上げられる

- 16年3月 朝日新聞「茨城マリオン」に紹介
- 16年4月 茨城放送に電話インタビューで生出演 小林院長
- 16年10月 週間茨城朝日にトップ記事で紹介
- 18年3月 JWAYで活動が紹介される
- 19年 NHK水戸放送局の取材を3日間にわたりうけ
「こんにちは1と6けん」で放映される
- 21年 朝日新聞折込”定年時代”
月刊誌“常陽芸文” に掲載される。
- 21年7月 タウン誌“スペースマガジン”に掲載




NHK取材の様子



NHK放送から



グループ・ピニオン発足



平成15年10月楽集会テーマの1つで社会福祉ボランティアを学ぶ一環で老人保健施設「しおさい」を見学したことが発足のきっかけ

ピニオン・・・大小2個の歯車がかみ合うとき、
小さいほうの歯車をピニオンという。

平成16年3月 お手伝いグループとして立上げ
メンバー 11名 毎週水曜日午前中に実施

オカリナ演奏の実施

平成19年4月から木曜日の午前中も実施し、
2回／週とした。



施設利用者との語らい



お迎えのお手伝い



趣味のお相手



オカリナ演奏で憩いのひと時



平成21年 日立市社会福祉協議会より表彰

なるてす会発足

平成16年に、物を大切にしようと

「本の有効活用」を掲げ発足

本に限らず家庭にある物品の有効活用にも広げてきた。

不用品に「もう一度、新しいいのちを！」

活動の場は

- ・ 楽習会井戸端会議の場で
- ・ 環境フェスタのバザーで
- ・ その他フリーマーケットに参加して



「社会参加活動事例」

平成16年度の内閣府「社会参加活動事例」に選ばれ
内閣官房長官名の書状及び盾が授与された。

全国で27件が厳選され、その中に当会も選ばれた。
日立では初の事例



ウォーキンググループ発足

平成17年4月「活動は健康から」と、歩くことを目的にしたJKC（J-net健康クラブ）を立ち上げた。

現在は**ウォーク会**と称す

第一回は里山ウォークとして小木津山周辺を歩き、現在までに日立周辺を中心に33回行った。



おもちゃライブラリー

乳幼児がおもちゃで安心して遊べる

「おもちゃライブラリー」

平成18年7月より火曜日担当として

「J&Bグループ」の名前で活動を開始

Jは じじ Bは ばば





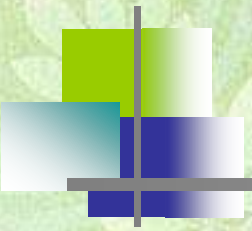
自主グループ



(グループ名)

(発足)

ハーモニーフレンズ	平成7年
日立再発見活動	平成11年
日立のさくらを楽しむ講座	平成13年
Jネット・オカリナハート	平成13年
会報編集「なかま」	平成15年
ひたちおもちゃの病院	平成15年
グループ・ピニオン	平成16年
なるてす会	平成16年
ウォーキンググループ	平成17年
おもちゃライブラリー	平成18年
郷土ひたち・ネット	平成19年
その他の自主グループ	
ケーナ演奏	
河原子海岸清掃	



その他のお手伝い

過去行ったもの

多賀駅前清掃

さくら祭り駅前案内

てんぐ巢病駆除のお手伝い

金砂大祭礼駅前案内

現在も続いているもの

小平記念館案内

社協ボランティアグループ連絡会世話人

社協ボランティアグループ連絡会機関紙

「なかま」の編集作業 3回／年

視覚障害者向け「声の社協だより」ダビング作業



ロゴマーク



平成 1 3 年度制定



平成 2 1 年度より
新ロゴマーク

*J-net*の青は日立の海、背後の弧は緑豊かな山々
希望の虹、*J-net*活動の広がりをイメージしたもの。